



患者の声から考える看護

渡邊順子=著

定価：本体2000円+税

医学書院

☎03-3817-5600

患者さんの望む看護はむずかしい? 本書は、コミカルな4コマ漫画で、ベテランのナースレンジャーが「看護師のしたい看護」と「患者さんが求めている看護」とのズレをわかりやすくひもとく。そして、看護師には届かない患者さんの声と、そこで必要な看護の勘どころを厳しく的確にアドバイスする。新人、キャリア初期ナースにオススメ。

誤作動する脳

樋口直美=著

定価：本体2000円+税

医学書院 ☎03-3817-5600



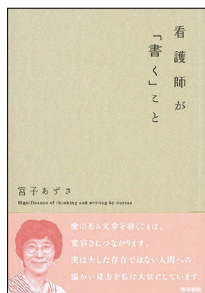
「レビー小体型認知症」と診断された人の頭の中では何が起こっているのか。本書では、体験した世界を正確に表現した著者の言葉によって、記憶障害、幻覚、時間意識の低下など、脳の誤作動による症状の様態が、リアリティをもって伝わってくる。幻視、幻臭、幻聴など五感の変調をかかえながら達成した圧倒的な当事者研究。

看護師が「書く」こと

宮子あずさ=著

定価：本体1800円+税

医学書院 ☎03-3817-5600



看護師として言葉を磨き、社会に発信してきた著者による、看護と著述をめぐる思索の旅。看護の現場で出会う、人の営みの不可思議な魅力を受取る文章で表現してきた著者は、看護という仕事には、言語化されていない魅力的な領域がまだまだ残っているという。著者のように、看護の魅力を「書く」ことで表現したい看護師さん、必読の指南書。

大切な人が死ぬとき

私の後悔を緩和ケアナースに相談してみた

水谷緑=著、西智弘=監修

定価：本体1000円+税

竹書房 ☎03-3264-1567



本号で特集の漫画を担当された水谷さんが、家族の看取りの心情を描いた漫画。「もっとできることがあったのでは」と後悔を募らせた水谷さんは、そんな思いを緩和ケアナースに打ち明ける。すると、受容のプロセスは人さまざまであることを知らされる。「あの時父になんと言えよかったか」、その正解は――。

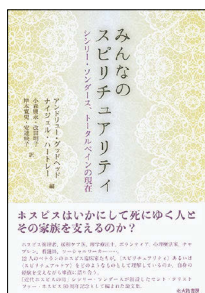
みんなのスピリチュアリティ

シシリー・ソンドース、トータルベインの現在

アンドリュー・グッドヘッドほか=編 小森康永ほか=訳

定価：本体3900円+税

北大路書房 ☎075-431-0361



緩和ケア医、看護師、ソーシャルワーカー、心理療法家等が、ホスピスにおけるスピリチュアルケアをどのように捉えているかを、自らの経験を踏まえて率直に綴る。タイトル「みんなのスピリチュアリティ」とは、この言葉が単純な定義を拒み、「さまざまな人々がさまざまな仕方ですピリチュアリティを表現する」という趣旨である。